

作成日: 2000年10月11日
 改訂日(V.8): 2016年4月12日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名: 日農クサレス顆粒水和剤

会社名: 日本農薬株式会社
 住所: 〒104-8386 東京都中央区京橋 1丁目19番8号 京橋OMビル
 担当部門: 環境安全部
 TEL. 03-6361-1426, FAX. 03-6361-1451
 e-mail: kankyuanzen@nichino.co.jp

緊急連絡電話番号:(平日) 03-6361-1426 (環境安全部)
 (休日、夜間) 04-2929-8961 (ALSOK)

用途及び使用上の制限: 芝、非農耕地用除草剤、農薬登録以外の使用は不可

MSDS番号: 508-30(M427)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	自然発火性固体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
環境に対する有害性	眼に対する重篤な損傷・刺激性	区分2B
	皮膚感作性	区分外
	発がん性	区分1
	特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分1(呼吸器系)
	特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分1(呼吸器系、腎臓)
水生環境有害性(急性)	区分3	

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語: 危険

危険有害性情報: 眼刺激
 発がんの恐れ
 臓器(呼吸器系)の障害
 長期にわたるまたは反復暴露による臓器(呼吸器系、腎臓)の障害
 水生生物に有害

注意書き

【予防策】

- 使用前に取扱い説明書を手に入ること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- 指定された個人用保護具を使用すること。
- 粉塵、ガスを吸入しないこと。
- 取扱いの際には飲食または喫煙をしないこと。
- 取扱い後はよく手を洗うこと。

- 必要な時以外は環境への放出を避けること。

【対応】

- 暴露またはその懸念がある場合、医師の診断を受けること。
- 気分が悪いときは医師の診断を受けること。
- 眼に入った場合：清浄な流水で数分間洗浄する。眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗う。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずし、その後も洗浄を続ける。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断を受ける。

【保管】

- 容器を密閉して、涼しく換気の良いところで施設して保管すること。

【廃棄】

- 内容物、容器を法、条例等に従って安全に処理する。または都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

その他の危険有害性：特になし。

3. 組成, 成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

有効成分化学名(一般名)：2 - (α - ナフトキシ) - N, N - ジエチルプロピオンアミド (一般名 ナプロパミド)

成分及び含有量：

成分	含有量	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
ナプロパミド	51.0%	15299-99-7	5-359	(9)-2333
〈その他〉				
石英	>0.37%	14808-60-7	既存物質	(1)-548
			安衛法通知対象物(2016年6月1日から安衛法表示・通知対象物)	

鉱物質微粉、界面活性剤等 <48%

4. 応急措置

吸入した場合：被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：汚染された着衣、靴等を速やかに脱がせる。付着した製品を拭き取るか、あるいは水で洗い流してから石鹸を使ってよく洗い落とす。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断を受けること。

眼に入った場合：直ちに清潔な水で最低 15 分洗眼した後、眼科医の手当てを受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行き渡るように洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。

飲み込んだ場合：水で口の中を洗浄し、コップ 1～2 杯の水又は牛乳を飲ませて、直ちに医師の手当てを受ける。被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。毛布などで保温して安静に保つ。

5. 火災時の措置

消火剤： 水、粉末、泡沫、炭酸ガス

使ってはならない消火剤： 特になし。

火災時の特定危険有害性： 製品中に N を含有しているため、火災時に刺激性、もしくは有毒なヒュームを放出する。

特定の消火方法： 火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。容器、周囲の設備などに散水して冷却する。消火活動は、可能な限り風上から行う。

消火を行う者の保護： 消火作業の際は、状況に応じた保護具を必ず着用する。燃烧又は高温により有害なガス（一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、アンモニア）が発生するので、必ず呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項： 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際は保護具を着用し、接触および粉塵の吸入を避ける。

環境に対する注意事項： 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないよう注意する。

除去方法： 漏出したものをすくい取り、又は掃き集めて紙袋又はドラム缶などに回収する。下水溝、表流水、地下水に流してはいけない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策： 電気機器類は必要に応じ防爆構造の物を用い、静電気対策も行う。

局所排気・全体換気： 局所排気内、または全体換気の設備のある場所で取扱う。

注意事項： 吸入、皮膚への接触を防ぎ、又、目に入らないように適切な保護具を着用する。取扱い場所の近くには、手洗い、洗眼などの設備を設け、取扱い後に、手、顔などをよく洗う。

保管

適切な保管条件： 食物、飼料等と離し、直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。密閉した容器に保管する。無関係者、子供の手の届かないところに施錠して保管する。

安全な容器包装材料： クラフト袋

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度： 未設定

設備対策： 取扱い場所には、全体換気装置を設置する。できるだけ密閉された装置、機器、または局所排気装置を使用する。取扱い場所の近くに洗眼、及び身体洗浄のための設備を設ける。

許容濃度

<ナプロパミド>

日本産業衛生学会(2001)：未設定

ACGIH(2001)：未設定

OSHA(2001)：未設定

〈クレー〉

日本産業衛生学会(2001) :	未設定
ACGIH(2001) :	呼吸性粉塵 2mg/m ³
OSHA(2001) :	Total dust 15mg/m ³

保護具

呼吸器の保護具 :	防塵マスク
手の保護具 :	ゴム手袋
眼の保護具 :	保護眼鏡、ゴーグル、保護面
皮膚及び身体の保護具 :	安全帽、保護衣、保護前掛け、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態 :	固体
形状 :	顆粒
色 :	淡褐色
臭い :	芳香臭
pH :	7-9(10%水懸濁液)
引火点 :	不燃性
発火点 :	不燃性
爆発特性 :	不燃性
密度(比重) :	0.6(見掛け)
溶解性 :	水に懸濁

〈本銘柄に関する情報が少ないため、ナプロパミド原体の情報を記載する〉

引火点 :	69.5°C
爆発特性 :	知見なし
蒸気圧 :	1.72 × 10 ⁻⁵ Pa(25°C)
蒸気密度 :	5.8 × 10 ⁻⁵ mg/L(25°C)
密度(比重) :	1.16
溶解性 :	20°Cの水に 73mg/L 溶解する。
オクタノール/水分配係数 :	3.369

10. 安定性及び反応性

安定性 :	通常取り扱い条件では安定。
危険有害可能性 :	酸化剤と反応する。
混触危険物質 :	酸化剤との共存を避ける。
危険有害な分解生成物 :	窒素酸化物、アンモニア、一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性 :	ラット(雄、雌) 経口 LD ₅₀	>5000mg/kg
	マウス(雄、雌) 経口 LD ₅₀	>5000mg/kg
	ラット(雄、雌) 経皮 LD ₅₀	>2000mg/kg

局所効果

眼刺激性 :	ウサギ 軽度の刺激性
皮膚刺激性 :	ウサギ 軽度の刺激性
感作性 :	モルモット なし
発がん性 :	区分1の成分(結晶質—石英)を含むため、混合物として区分1に分類される。

特定標的臓器・全身毒性(単回暴露):

区分1(呼吸器系)の成分(結晶質—石英)を含むため混合物として区分1に分類される。

特定標的臓器・全身毒性(反復暴露):

区分1(呼吸器系、腎臓)の成分(結晶質—石英)を含むため、混合物として区分1に分類される。

<本銘柄に関する情報が少ないため、ナプロパミド原体の情報を記載する>

急性毒性:	ラット(雄、雌) 経口 LD ₅₀	>5000mg/kg
	マガモ 経口 LD ₅₀	>4640mg/kg
	ウサギ(雄、雌) 経皮 LD ₅₀	>2000mg/kg
	ウズラ 混餌 LC ₅₀	56000ppm
	マガモ 混餌 LC ₅₀	>10000ppm
変異原性:	DNA 修復試験 枯草菌	陰性
	Ames 試験	陰性
	宿主経由法 マウス	陰性
	細胞遺伝学的試験 マウスリンパ腺細胞	陰性
催奇形性:	ラット 経口 催奇形性無し	
	ウサギ 経口 催奇形性無し	
生殖毒性:	ラット 混餌(102W) NOEL	30mg/kg
	マウス 混餌(102W) NOEL	雄雌 30mg/kg

12. 環境影響情報

生態毒性:	コイ	LC ₅₀ (96H)	26.0mg/L
	オオミジンコ	LC ₅₀ (48H)	20.7 mg/L
	緑藻	ErC ₅₀ (0-72H)	8.69mg/L

<本銘柄に関する情報が少ないため、ナプロパミド原体の情報を記載する>

残留性/分解性:	酸・アルカリ; pH10 および 40°Cの条件で 2 ヶ月間殆ど変化しない。
	土壌; 砂壤土および埴土の方が分解は早く、その主因は日光および微生物である。
	光分解; 半減期 57min (計算値)
生体蓄積性:	BCF 77 (計算値)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。焼却処理を行う場合、完全に分解させるために燃焼室の温度を800°C以上に保持する。
汚染容器・包装:	空容器を廃棄する場合、内容を完全に除去した後処分する。

14. 輸送上の注意

国連分類:	国連定義の危険物に該当しない。
輸送の特定の安全対策及び条件:	容器に異常のないことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。

15. 適用法令

農薬取締法	
毒物及び劇物取締法:	毒物及び劇物に該当せず。

労働安全衛生法

表示対象物(法 57 条、施行令第 18 条) :

表示対象物	2016. 5. 31 まで(改正法施行前)	2016. 6. 1 から(改正法施行後)
シリカ	—	政令番号 312 (対象となる範囲 0.1%以上)

通知対象物(法 57 条の 2、施行令第 18 条の 2) : シリカ(政令番号 312)

化学物質排出把握管理促進法 (化管法)

指定化学物質 : 該当せず。

16. その他の情報

参考資料 : 製品安全データシート「クサレス顆粒水和剤」(ユーピーエルジャパン(株) 2011 年 7 月 25 日改訂)

本データシートの記載内容は、この製品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。